

## 県政世論調査（これからの環境保全の方向性について）の結果について

愛知県では、県民生活に関わりの深い県政の各分野について、県民の関心や意向、要望等を把握し、今後の県政運営の基礎資料とするために県政世論調査を実施しています。

今年度は3回実施しており、第3回において「これからの環境保全の方向性について」調査を実施しました（第3回では、「県の広報広聴活動について」など、全5項目について調査）。

なお、調査結果の詳細は、愛知県のウェブページ（※）及び各県民生活プラザで閲覧できます。

※ <http://www.pref.aichi.jp/0000000110.html>

### 1 調査対象及び回答者数等

調査対象	愛知県内に居住する20歳以上の男女	3,000人
抽出・調査方法	層化二段無作為抽出法・郵送法	
調査期間	平成26年11月1日から11月20日まで	
回答者数	1,443人（回収率 48.1%）	

### 2 回答項目

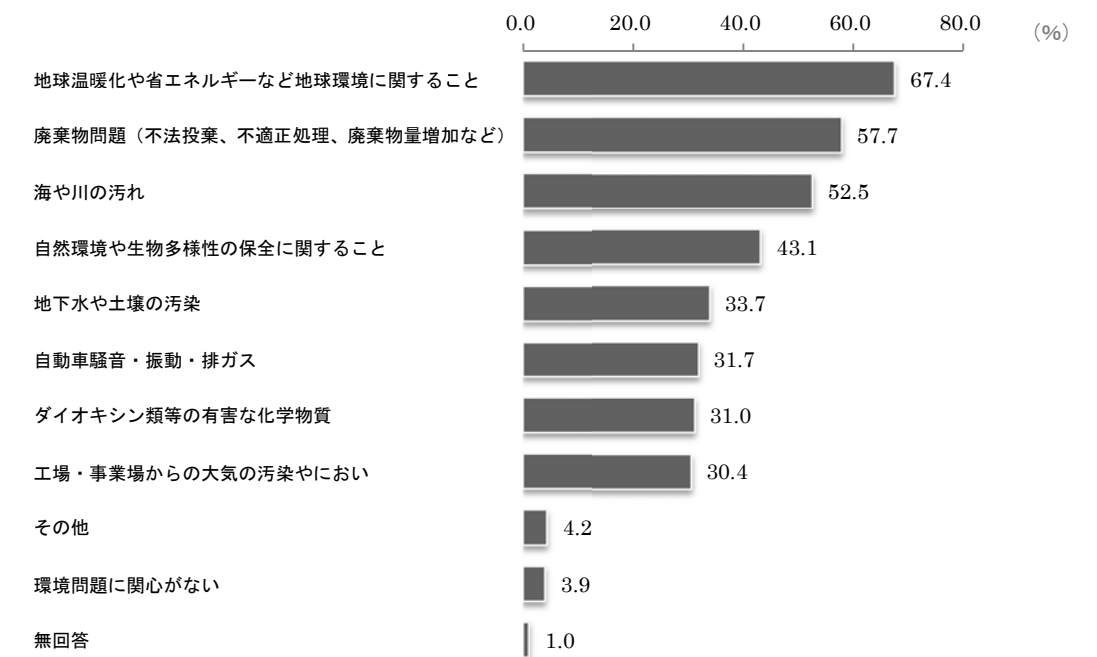
- (1) 現在、関心のある環境問題
- (2) 環境問題に関心を持つようになったきっかけ
- (3) 将来の世代に良好な地球環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題
- (4) 良好な地球環境を引き継ぐための課題を解決するために県が力を入れるべき施策
- (5) 日常生活で行っている環境にやさしい行動
- (6) 環境にやさしい行動を県民に浸透させるために県が力を入れるべき施策

### 3 調査結果

#### (1) 現在、関心のある環境問題

「地球温暖化や省エネルギーなど地球環境に関すること」が67.4%

問14 あなたは、現在どのような環境問題に関心がありますか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。（○はいくつでも可）



件数=1443

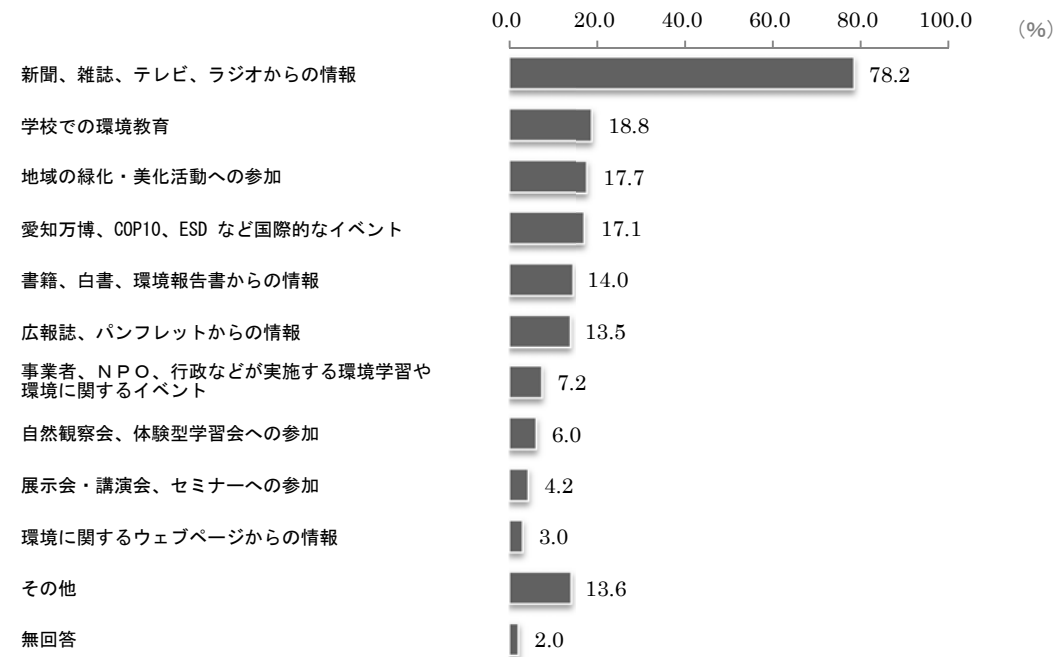
現在、関心のある環境問題について、「地球温暖化や省エネルギーなど地球環境に関すること」と答えた人の割合が67.4%と最も高く、続いて「廃棄物問題（不法投棄、不適正処理、廃棄物量増加など）」（57.7%）、「海や川の汚れ」（52.5%）の順になっている。

## (2) 環境問題に関心を持つようになったきっかけ

「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」が 78.2%

問 15 《問 14 で、1～9 に○印を付けた方にお伺いします》

問 14 で選択した環境問題に関心を持つようになったきっかけは何ですか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。(○はいくつでも可)

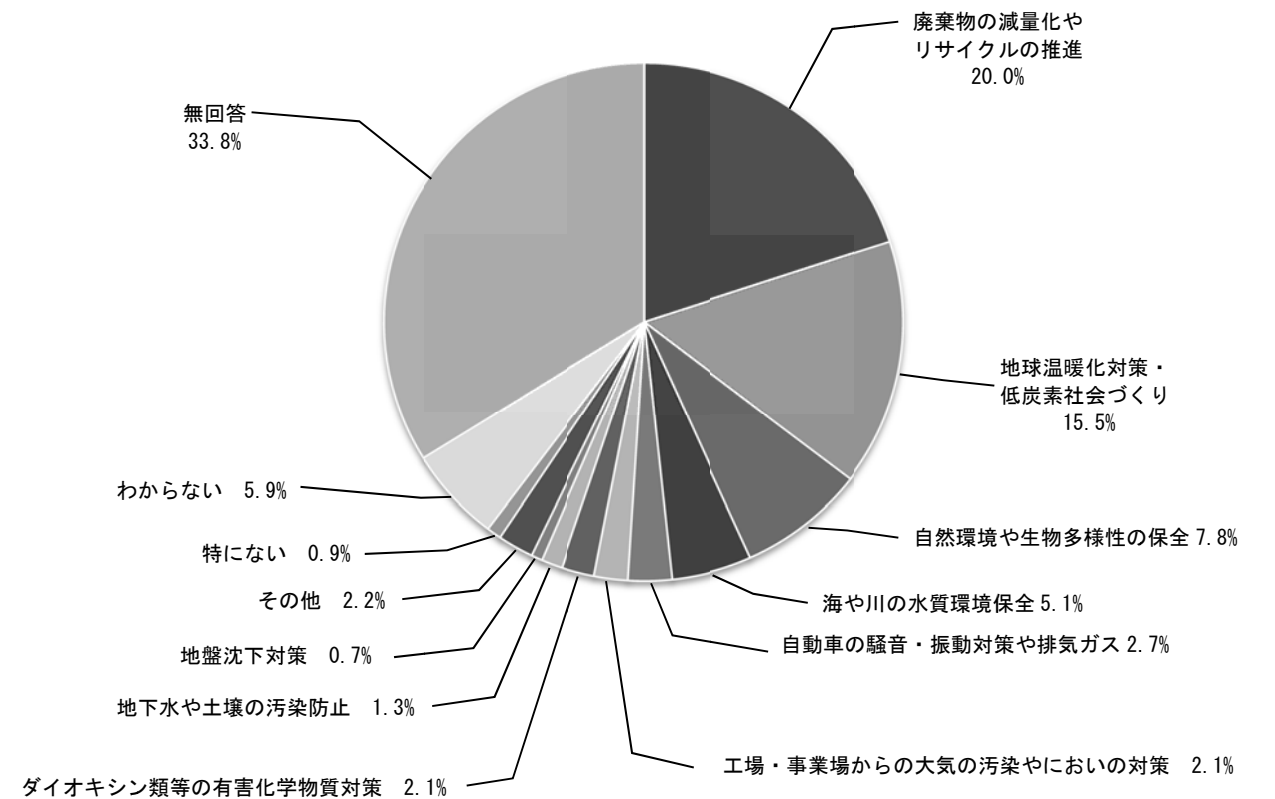


件数=1374

環境問題に関心を持つようになったきっかけについて、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」と答えた人の割合が 78.2%と最も高く、続いて「学校での環境教育」(18.8%)、「地域の緑化・美化活動への参加」(17.7%)の順になっている。

(3) 将来の世代に良好な地球環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題  
「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」が20.0%

問16 地球の環境を良好な状態にして、将来の世代に引き継ぐためには、愛知県はどのような課題に最も重点的に取り組むべきだと思いますか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。  
(○は1つ)

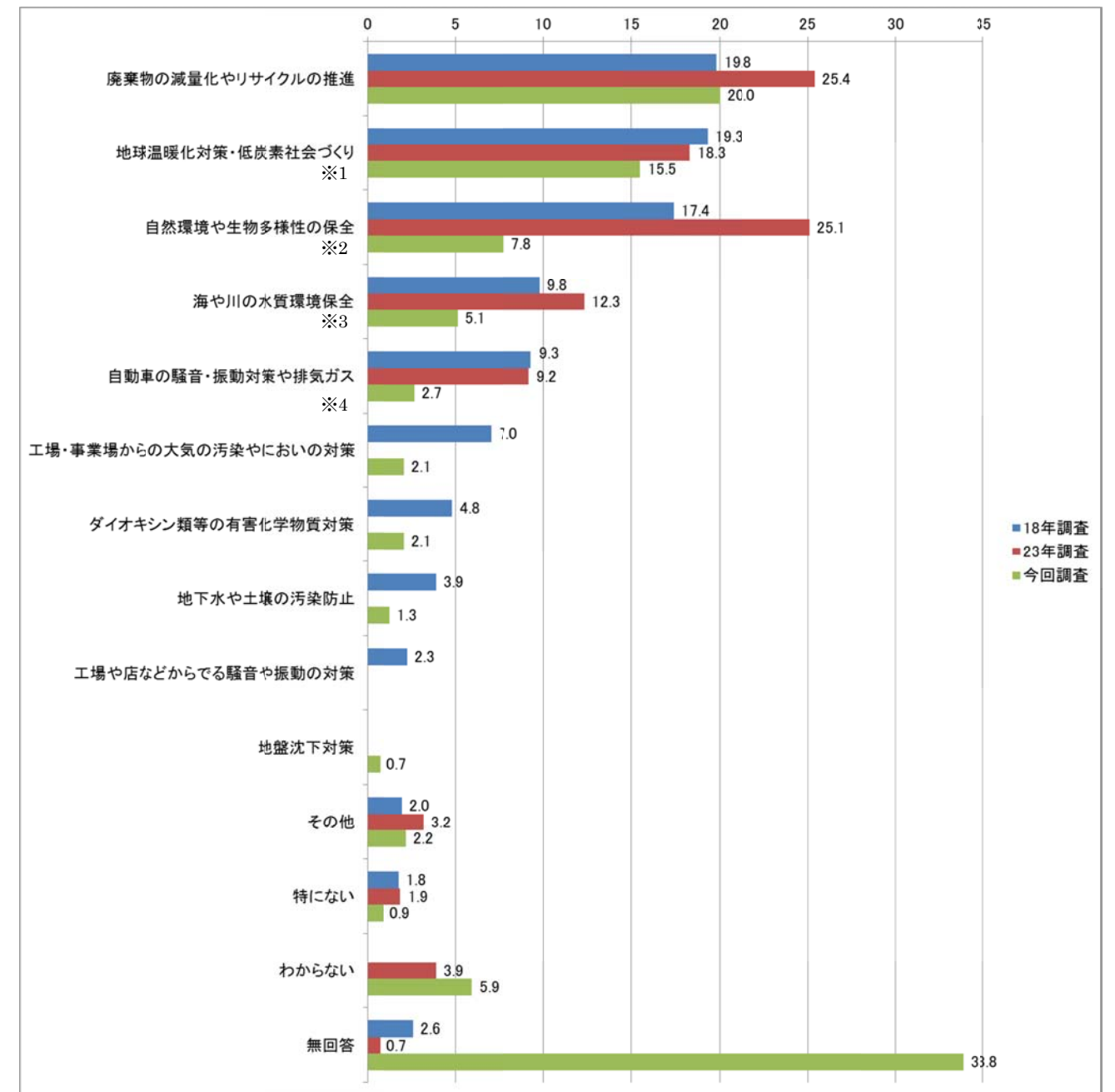


件数=1443

※ 一人の対象者にひとつの回答のみを認めた間に複数項目を選んだ回答は「無回答」に含めています。

将来の世代に良好な地球環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題について、「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」と答えた人の割合が20.0%と最も高く、続いて「地球温暖化対策・低炭素社会づくり」(15.5%)、「自然環境や生物多様性の保全」(7.8%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
18年調査	廃棄物	地球温暖化	自然環境	水質環境	自動車環境
23年調査	廃棄物	自然環境	地球温暖化	水質環境	自動車環境
今回調査	廃棄物	地球温暖化	自然環境	水質環境	自動車環境

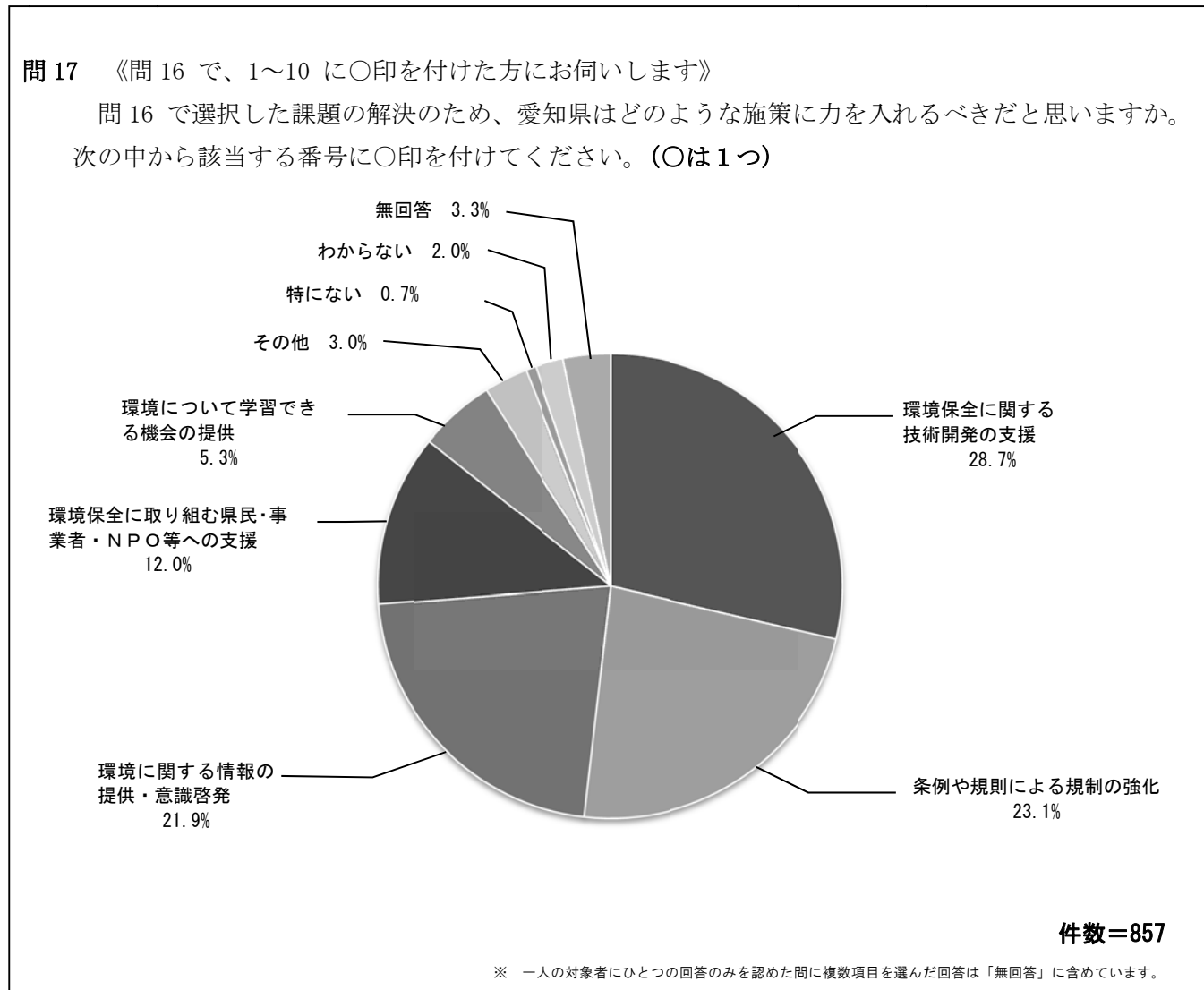
※1 平成18年調査では「地球温暖化対策（二酸化炭素の排出抑制など）」となっている。

※2 平成18年調査では「身近な自然の保全」となっている。

※3 平成18年調査及び平成23年調査では「海や河川などの水質保全」となっている。

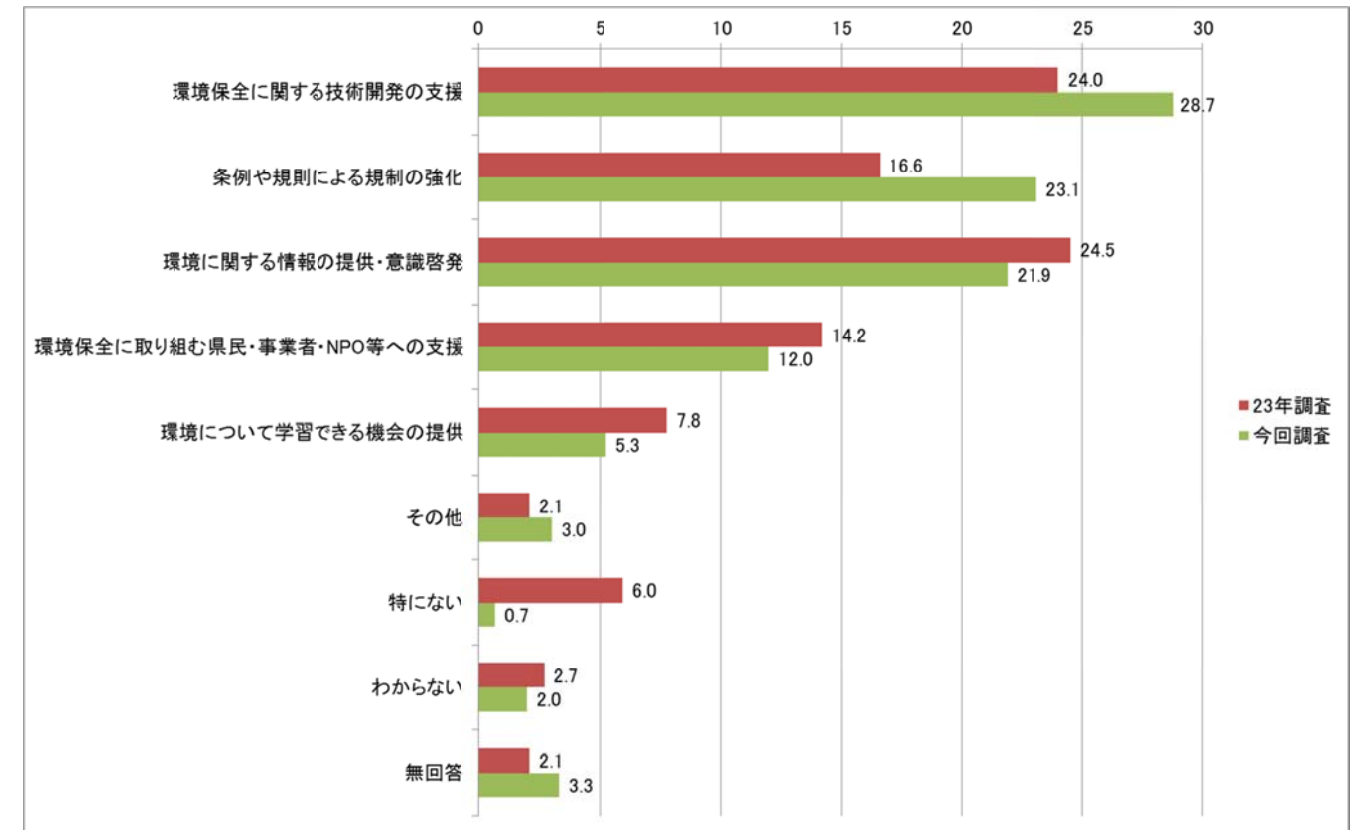
※4 平成18年調査では「自動車から発生する排気ガスや騒音、振動などの公害の対策」、平成23年度調査では「自動車や工場の排気ガスや騒音対策」となっている。

(4) 良好な地球環境を引き継ぐための課題を解決するために県が力を入れるべき施策  
「環境保全に関する技術開発の支援」が28.7%



良好な地球環境を引き継ぐための課題を解決するために県が力を入れるべき施策について、「環境保全に関する技術開発の支援」と答えた人の割合が28.7%と最も高く、続いて「条例や規則による規制の強化」(23.1%)、「環境に関する情報の提供・意識啓発」(21.9%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



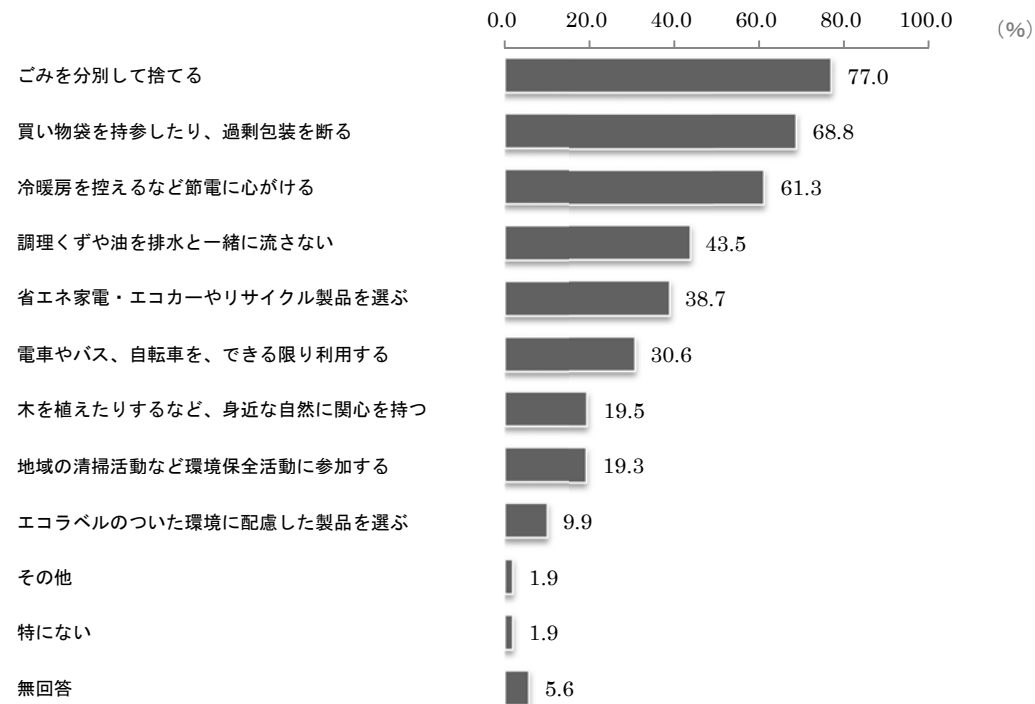
上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
23年調査	情報提供・啓発	技術開発支援	規制強化	NPO等支援	学習機会提供
今回調査	技術開発支援	規制強化	情報提供・啓発	NPO等支援	学習機会提供

(5) 日常生活で行っている環境にやさしい行動  
「ごみを分別して捨てる」が77.0%

問 18 環境問題の解決には、県民一人ひとりの行動が大切だと言われています。あなたが日常生活で行っている環境にやさしい行動はどれですか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。

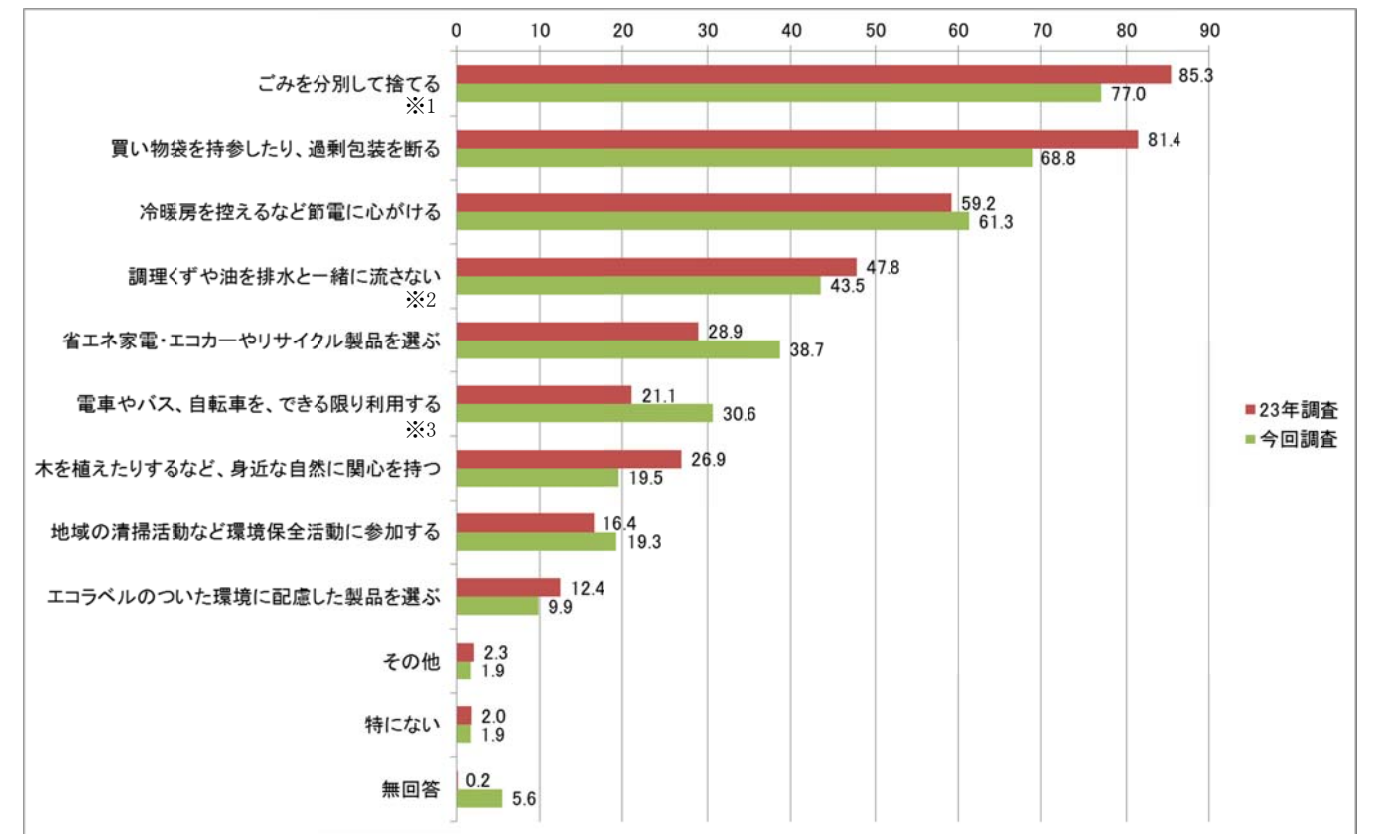
(○はいくつでも可)



件数=1443

日常生活で行っている環境にやさしい行動について、「ごみを分別して捨てる」と答えた人の割合が77.0%と最も高く、続いて「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る」(68.8%)、「冷暖房を控えるなど節電に心がける」(61.3%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
23年調査	ごみの分別	買い物袋持参	節電	生活排水対策	グリーン購入
今回調査	ごみの分別	買い物袋持参	節電	生活排水対策	グリーン購入

※1 平成23年調査では「ごみの分別」となっている。

※2 平成23年調査では「調理くずや油を排水と一緒に流さないことなど生活排水に気をつける」となっている。

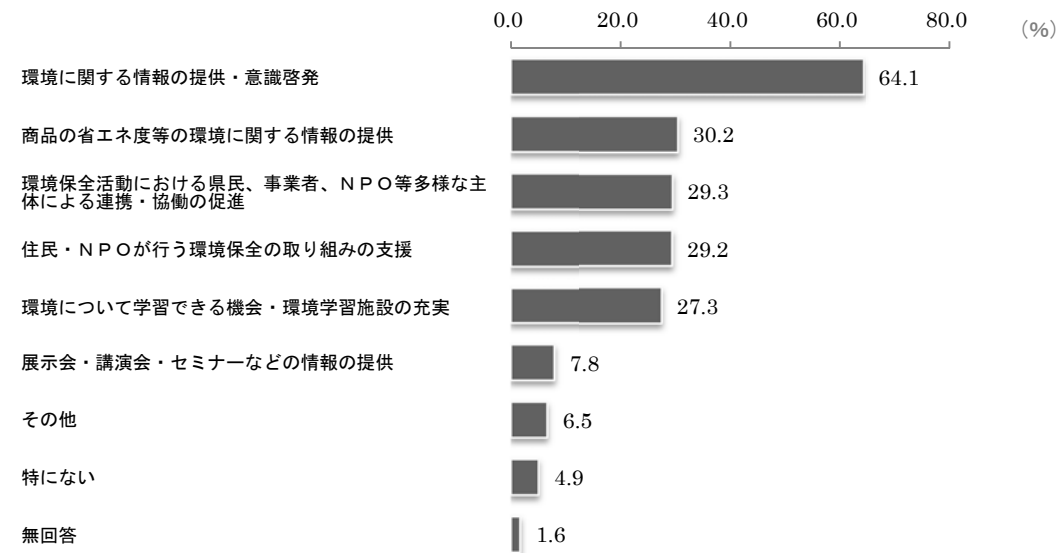
※3 平成23年調査では「自動車に頼りすぎず電車やバスを利用する」となっている。

(6) 環境にやさしい行動を県民に浸透させるために県が力を入れるべき施策

「環境に関する情報の提供・意識啓発」が 64.1%

問 19 《問 18 で、1～10 に○印を付けた方にお伺いします》

問 18 で選択した行動を県民の間に効果的に浸透させるために、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。(○は3つまで)



件数=1336

環境にやさしい行動を県民に浸透させるために県が力を入れるべき施策について、「環境に関する情報の提供・意識啓発」と答えた人の割合が 64.1%と最も高く、続いて「商品の省エネ度等の環境に関する情報の提供」(30.2%)、「環境保全活動における県民、事業者、NPO等多様な主体による連携・協働の促進」(29.3%)の順になっている。